

教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度
		スケジュールの確認
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 ■その他(日常生活の指導)
	単元・題材名	日常生活の指導
	授業の目標	登校後のスケジュールをiPadで確認し、自ら行動することができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 ■「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他( )
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input type="checkbox"/> 通常の学級 <input type="checkbox"/> 通級による指導 <input type="checkbox"/> 特別支援学級 ■特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 ■中学生 <input type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 第3学年 1人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 ■知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 ■自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題 (特性・ニーズ)	<input type="checkbox"/> 見る <input type="checkbox"/> 聞く <input type="checkbox"/> 話す <input type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 ■日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性・衝動性 ■社会性・コミュニケーション ■覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・簡単な指示を聞いて、そのとおりに行動することができる。 ・スケジュールを自ら確認し、主体的に行動することは難しい。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	iPad (Keynote)
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援( <input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(■B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援( <input type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援)  スケジュールを提示したiPadの画面を確認し、自ら行動することができる。
授業に授お業け展る開支援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	 ・授業時数(週5時間、日常生活の指導で実施) ・朝の登校後から下校までのスケジュールを画面(写真と平仮名の文字)に出すようにして、生徒が自らiPadの画面をタッチして確認をする。 ・活動終了後に再びiPadに戻り、画面をタッチして次にやることを確認する。 ・次の行動に移ることができるよう、iPadを見ていないときは、言葉がけや指差しなどによる指示を出す。
効果・評価	子どもの様子や変容および授業の評価	・画面をタッチするだけのシンプルな操作にすることで、確認の仕方を覚えることができた。 ・イラストや写真などを見ることで次に取り組む活動が分かり、一人で画面を見ながら自分のやるべきことを理解し、自ら活動に取り組むことができるようになってきた。